

医療者と考える終活シリーズ第4弾 自分らしい最期を迎えるために

# 人生の最終段階に受けてたい

## 医療、介護とは・・・？

認知症や命にかかわる状態になった時、あなたの大切な人が判断を迫られます。その時後悔しないように、自分の意思や希望を伝えるエンディングノートを作っておきましょう。

ノートの必要性や書き方について詳しくお話しします。

♥参加して下さった方にエンディングノートを差し上げます。

### 講演

#### 1. 医師から見た本人の意思表示の必要性

みずの内科クリニック 水野康司院長

#### 2. エンディングノートを書いてみましょう

埼玉西協同病院 看護師 小野寺由美子

#### 3. 在宅や病院での看取りの実際、意思表示がなく判断に迷った事例

東所沢病院 社会福祉士 穂山桃子

居宅介護支援センターひまわり主任介護支援専門員 大木身江子

## 2019年6月20日（木）

13：30～15：30（受付 13：00～）

並木まちづくりセンターホール（並木公民館）所沢市並木8-3

**参加費無料**

**申込み不要**

**定員200名**

（主催） みんなで考える地域包括ケア実行委員会

**TEL 04-2942-6099**

埼玉西協同病院内事務局

（協力） 並木・富岡・柳瀬地区 地域包括支援センター  
公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団助成事業